

議決権行使レポート

証券コード 6369

会社名 トーヨーカネツ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役（監査等委員であるものを除く。）6名選任の件			
柳川 徹 氏	○		
大和田 能史 氏	○		
兒玉 啓介 氏	○		
柿原 明 氏	○		
酒井 由香里 氏	○		
佐藤 真希子 氏	○		
第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件			
阿部 和人 氏	○		
中村 重治 氏		○	
牛田 一雄 氏	○		
岩村 修二 氏	○		

上記の推奨をした理由

第1号議案 剰余金処分の件

今期は、一株当たり147円（前期から2円増加）、配当金総額11億9700万円（前年と変動なし）を想定している。[トーヨーカネツ, 2023]下のグラフに示したように、流動比率・当座比率はそれぞれ安全性の目安となる200%、100%を超えており、短期的な安全性は十分高い。また、固定比率も目安となる100%より低くなっていることから、長期的な財務の安全性も保たれている。¹以上より、配当性向が50%以上と高めだが、第1号議案に賛成する。

第2号議案 取締役6名選任の件

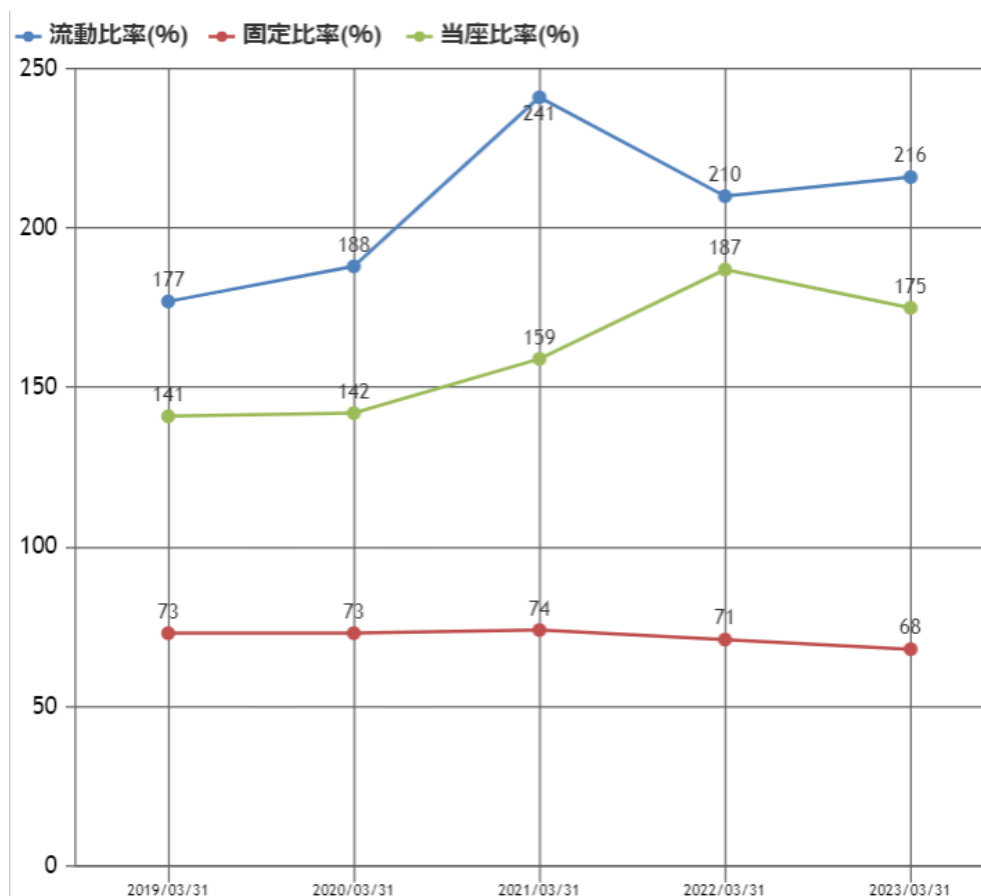
ISSの2023年版日本向け議決権行使助言基準を参考にして判断を行った。[ISS, 2023]まず、社外独立取締役である酒井氏と佐藤氏については、トーヨーカネツに関連の深い企

¹ 流動比率と当座比率は高いほど、固定比率は低いほど財務的な安全性が高いと言える。

業に勤めていたり、大株主であったり、親族がトーヨーカネツに勤めていたりというような事象は確認されなかったため、独立性があると判断した。取締役の構成については、社外取締役が全取締役の 1/3 を占めており、かつ女性の取締役も 2 人いることから、十分に客観性や透明性が保たれており取締役の多様性への配慮もみられる。また、ROE は継続的に ISS 基準の 5% を上回っていることから、引き続き上記 6 名の取締役を選任することは妥当であると判断する。

1 第 3 号議案 監査役選任の件

中村氏以外の 3 名については、過去に監査役としての適性を欠くような行動は発見されず、独立性も確認できたため選任に賛成した。中村氏については、監査役としての適性を欠くような行動は確認されなかった。しかし、「第 115 回定時株主総会招集ご通知」によると、1976 年から 2012 年にかけてトーヨーカネツの大株主であるりそな銀行とその関連する会社に勤めており、取締役も務めていたことから、ISS の独立性基準に従うと独立性に疑問が生じる。[トーヨーカネツ, 2023] によって、中村氏の監査役再任に反対する。



トーヨーカネツの流動比率・固定比率・当座比率の推移 [eol, 2023]

文献目録

- eol. (2023 年 6 月 20 日). トーヨーカネツ(株) [東プ : 6369 | E01572 : 日本基準] 機 械.
- ISS. (2023 年 2 月 1 日). 2023 年版 日本向け議決権行使助言基準. 参照先:
<file:///C:/Users/yutot/Downloads/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>
- トーヨーカネツ. (2023 年 5 月 12 日). 2023 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結). 参照先:
<https://www.toyokanetsu.co.jp/assets/pdf/9bbfe8eedbbece22346f01e903742b9d994d1c18.pdf>
- トーヨーカネツ. (2023 年 5 月 31 日). 第 115 期 定時株主総会 招集ご通知. 参照先:
<https://www.toyokanetsu.co.jp/pdf/647388f5d623fc0c559f6eace3663060b2184756.pdf>